

YOKOSHIN NEWS

平成26年10月7日
横浜信用金庫

《よこしん》景気動向調査結果について

－平成26年7～9月期実績、10～12月期予想－

横浜信用金庫(理事長 大前 茂)では、定例(四半期)の「景気動向調査」を実施いたしました。調査結果の概要は以下のとおりです。

【業況判断DI】業況判断は悪化、来期は改善を見込む

- 今期(平成26年7～9月期)の業況判断DIは、前期比4.2ポイント低下の0.0となった。来期は、今期より5.9ポイント上昇の5.9と、改善を見込んでいる。
- 製造業の今期業況判断DIは前期比1.6ポイント上昇の6.4となった。来期も、今期より1.6ポイント上昇の8.0と、改善を見込んでいる。
- 非製造業の今期業況判断DIは前期比7.2ポイント低下の-3.2となった。建設業は前期比17.6ポイント低下の10.1となった。

【特別調査】中小企業における「成長戦略」への期待について

- アベノミクス効果を実感していない先は 51.7%
- 法人税制改正案についての評価は「どちらでもない」が最多回答 34.2%
- 積極的な設備投資を行う要件は「先行き不透明感の払拭」 25.9%
- 人材の現状:人手は適正 65.0%、人手不足 32.5%
- 外国人との関わりの増加への期待感「現場の労働力」 18.1%

<調査概要>

調査対象:当金庫取引先(法人・個人事業者)774先 有効回答数:758先
調査方法:各営業店職員による聞き取り調査 調査時期:平成26年9月上旬

その他詳細につきましては、「《よこしん》HP⇒法人のお客さま⇒景気動向調査」をご覧ください。